

宮崎県出身者として最初の本格的な洋画家とされる伊達孝太郎は、1902年にアメリカへ渡りました。美術学校で研さんを積んだ伊達は、「吾れ祖国の美術界に革命を起さん」という意気込みで、他学生をしのぐ勤勉ぶりを見せたといえます。その後、肖像画家として活躍し、セントルイスの肖像画館の主任を務めるなど、アメリカでの地歩を固めていきました。

ここでは、在米時代の木炭デッサン5点をはじめ、帰国後にアメリカ大陸の大自然を描いた油彩画などの作品を紹介します。これらの作品からは伊達の高い技術と制作に真摯に取り組む姿勢が見てとれます。

また、ご遺族から借用したアルバムや新聞記事などの資料も併せて展示しています。日本に持ち帰った作品の多くが戦災で焼失しており、伊達アメリカで自作を記録した写真は、当時の作品を知る貴重な資料となっています。

## ■展示作品リスト

| No. | 作家名    | 生没年       | 作品名         | 制作年               | 大きさ(cm)   | 技法 |
|-----|--------|-----------|-------------|-------------------|-----------|----|
| 1   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 裸婦          | 1903-09 (明治36-42) | 48.4×61.6 | 素描 |
| 2   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | インディアン (顔)  | 1903-09 (明治36-42) | 61.8×48.1 | 素描 |
| 3   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | インディアン (立像) | 1903-09 (明治36-42) | 61.7×47.7 | 素描 |
| 4   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 少女          | 1903-09 (明治36-42) | 61.8×48.0 | 素描 |
| 5   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 男           | 1903-09 (明治36-42) | 47.0×62.1 | 素描 |
| 6   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 7   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 8   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 9   | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 10  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 11  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 12  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 13  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 不明                | -         | 素描 |
| 14  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | カーボーイ       | 1931頃 (昭和6)       | 91.1×72.8 | 油彩 |
| 15  | 伊達 孝太郎 | 1878～1964 | 題不明         | 1954 (昭和29)       | 72.7×90.9 | 油彩 |